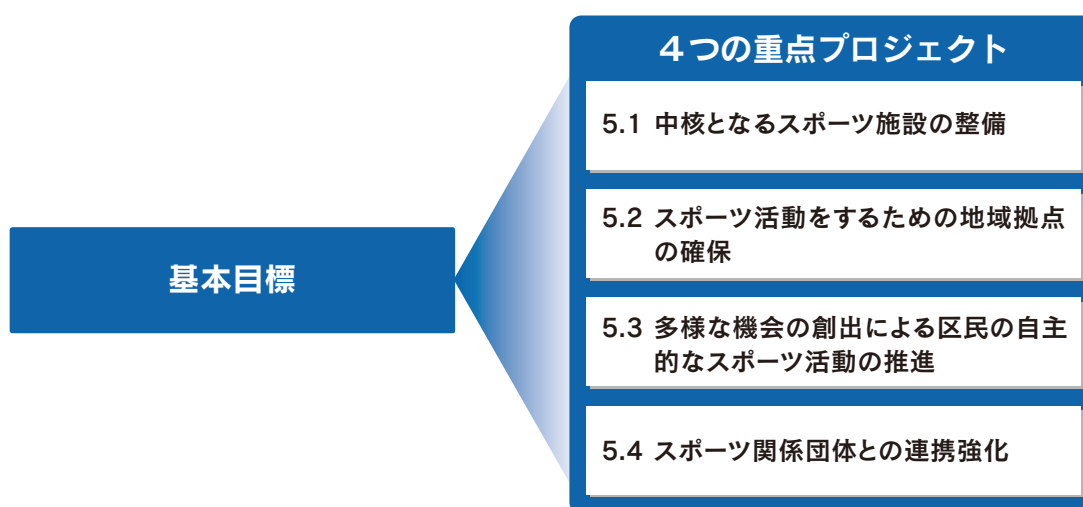


第5章 重点プロジェクト

本計画では、基本目標を達成するために「中核となるスポーツ施設の整備」、「スポーツ活動をするための地域拠点の確保」、「多様な機会の創出による区民の自主的なスポーツ活動の推進」、「スポーツ関係団体との連携強化」の4つを、区が特に力を入れて取り組む「重点プロジェクト」として設定します。

図表 5-1 4つの重点プロジェクト



5.1 「中核となるスポーツ施設の整備」プロジェクト

(1) 目的

「中核となるスポーツ施設の整備」プロジェクトにおいては、区のスポーツ施設の中核となる総合体育館や練馬総合運動場の整備やスポーツイベントの開催によって、区民が集い、一体感や地域への愛着を深めるとともに、区民自らが行う「する」スポーツ、試合やイベント等を観戦する「みる」スポーツ、大会やイベントにボランティア等で参加する「ささえる」スポーツといった多様なスポーツへの参加の機会を提供することを目的とします。

(2) 具体的な取組

①総合体育館の改築

総合体育館は昭和47年に区内で最初の区民体育館として開設し、屋内スポーツ施設の中核的な機能を果たしてきました。しかし、区民の意識やスポーツ活動の変化等により開設当時と今日では、求められる機能や設備にも変化が生じています。温水プールがないことや、アリーナに冷暖房設備がないこと、さらには施設のバリアフリー化が進んでいないことなど現状の施設の機能では、区民ニーズに十分応えられなくなってきました。

そこで、総合体育館を今日の区民のスポーツニーズに応えられる機能を充実させ、今後の「する」・「みる」・「ささえる」の多様なスポーツの展開にふさわしい屋内スポーツ施設として改築することを検討していきます。

②練馬総合運動場の改修

「する」・「みる」・「ささえる」の多様なスポーツ振興を推進するため、練馬総合運動場を、公式競技のできる400mトラック等を備えた屋外スポーツ施設として改修することを検討していきます。検討にあたっては、敷地内の道路整備計画等との調整を図ります。

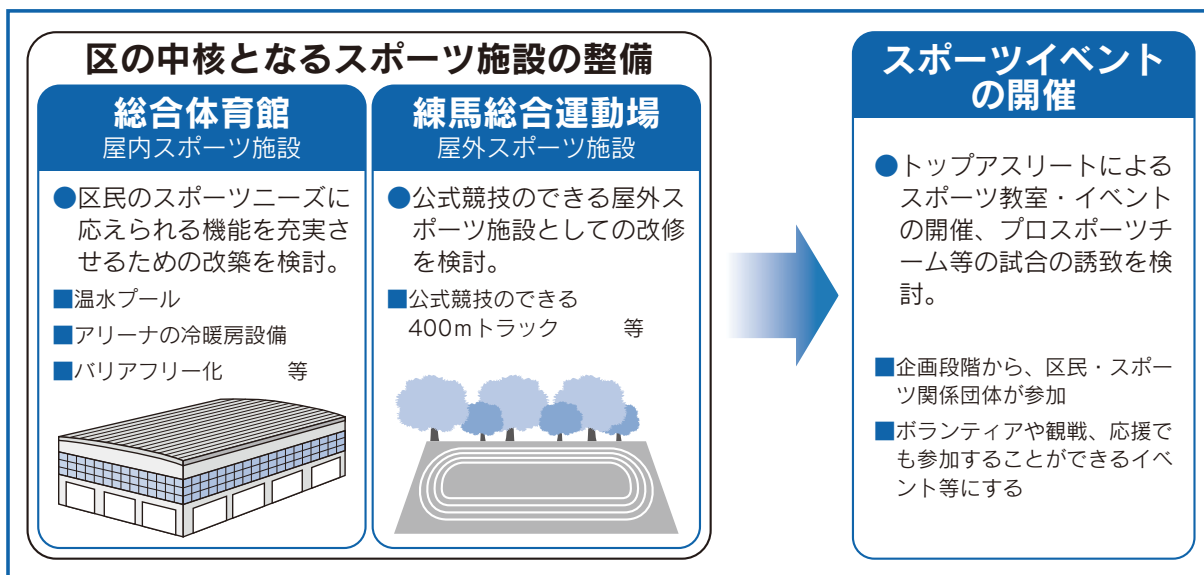
③スポーツイベントの開催

区民やスポーツ関係団体が、「する」・「みる」・「ささえる」の多様なスポーツとの関わりを持てるようにするためのスポーツイベントを開催します。

中核となるスポーツ施設において、トップアスリートによるスポーツ教室・イベントの開催、プロスポーツチーム等の試合の誘致を検討します。

企画の段階から区民やスポーツ関係団体が参加するだけでなく、当日はボランティアや観戦、応援でも参加することができるイベント等にすることで、「する」スポーツに加えて、「みる」・「ささえる」スポーツの推進を図ります。

「中核となるスポーツ施設の整備」プロジェクトの推進イメージ



区民が集い、一体感や地域への愛着を深めるとともに、多様なスポーツへの参加の機会を提供

「する」スポーツ……区民自らが行う

「みる」スポーツ……試合やイベント等を観戦する

「ささえる」スポーツ…大会やイベントにボランティア等で参加する

5.2 「スポーツ活動をするための地域拠点の確保」プロジェクト

(1) 目的

「スポーツ活動をするための地域拠点の確保」プロジェクトにおいては、スポーツ施設の計画的な改修等により、区民が身近な地域の中でスポーツに親しめる環境を確保することを目的とします。

(2) 具体的な取組

①区立スポーツ施設の整備・充実

平成18年1月に策定した「区立施設改修改築計画」に基づく区民体育館の改修や、庭球場や野球場といったスポーツ施設の整備基準の策定等、スポーツ施設の整備・充実を図ります。また、区民体育館7館構想完了後の区民体育館の整備のあり方についても検討していきます。

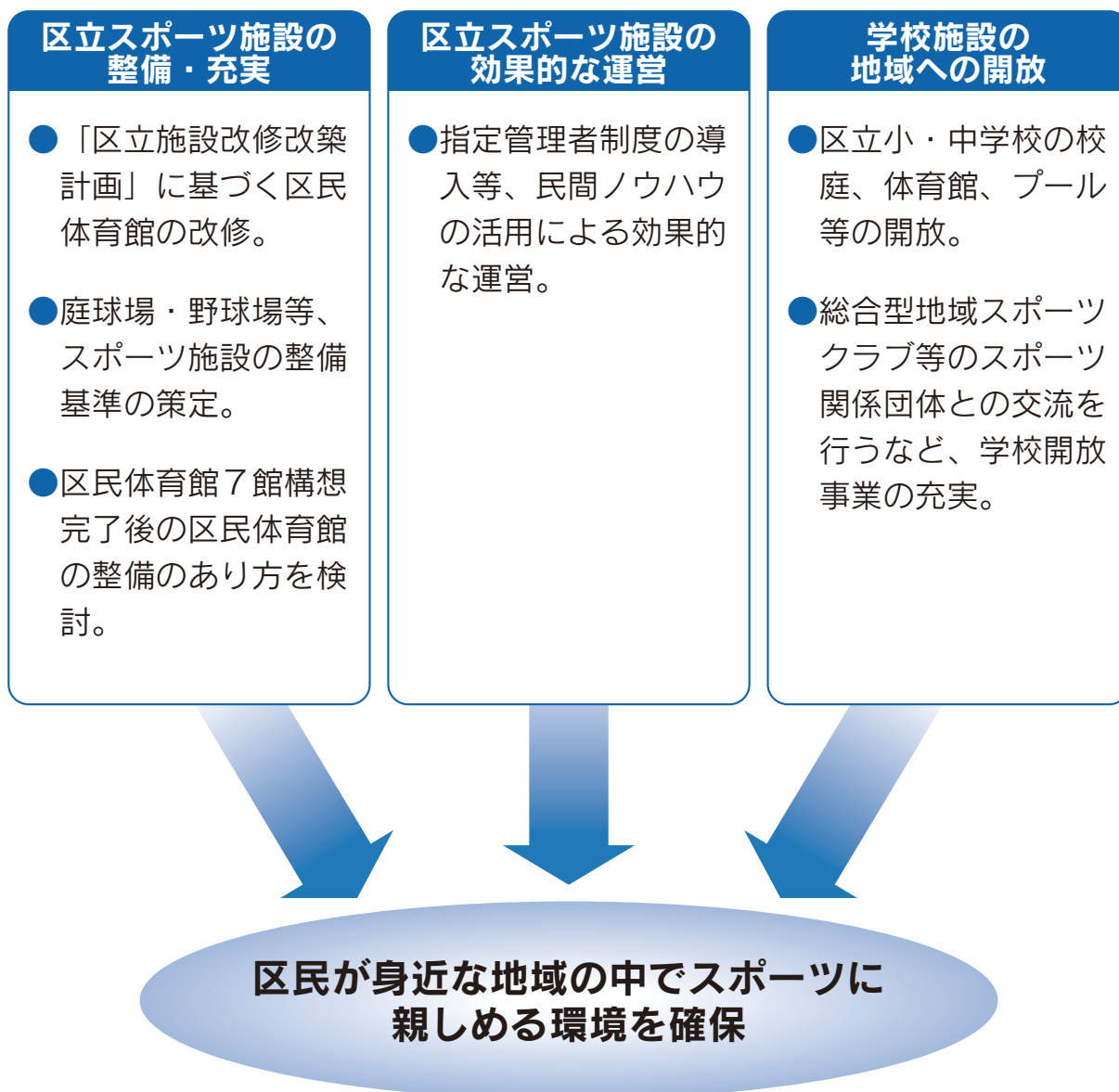
②区立スポーツ施設の効果的な運営

スポーツ施設をより効果的に運営するために、指定管理者制度を導入するなど、民間のノウハウを活用していきます。

③学校施設の地域への開放

区民がスポーツをするための身近な場として、区立小・中学校の校庭、体育館、プール等を、学校教育に支障がない範囲で開放しています。その開放の運営は、地域住民で主に構成されている「学校応援団」や「学校開放運営委員会」が行っています。また、総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ関係団体との交流を行うなど、学校開放事業の充実を図ります。

「スポーツ活動をするための地域拠点の確保」プロジェクト推進イメージ



5.3 「多様な機会の創出による区民の自主的なスポーツ活動の推進」プロジェクト

(1) 目的

「多様な機会の創出による区民の自主的なスポーツ活動の推進」プロジェクトでは、区、スポーツ関係団体、大学等の研究機関の協力・連携により、多様なスポーツの機会を創出し、区民の自主的なスポーツ活動を促すことを目的とします。

(2) 具体的な取組

①多様なニーズに対応した教室・講習会・イベント等の開催

区だけでなく、スポーツ関係団体等も主体となり、それぞれのノウハウを活用しながら、年代別、目的別、スポーツ経験の有無等、様々な層を対象としたスポーツ教室や講習会、イベント等を開催し、区民の多様なニーズに対応していきます。

②中学校運動部活動等の支援

スポーツ関係団体の指導者を外部指導員として活用し、中学校の運動部活動の活性化を図ります。また、運動部活動だけでなく、学習指導要領の改訂による平成24年度からの中学校における武道の必修化についても、スポーツ関係団体の協力を得ながら対応していきます。

さらに、地域でスポーツを行いたい生徒のスポーツ活動の場を確保するために、スポーツ関係団体との連携を図ります。

③大学・専門学校等との協力・連携

大学や専門学校の教員や学生を指導者や学生ボランティアとして活用したり、学生にインターンシップやイベント企画・運営体験の機会を提供するなど、大学や専門学校等のノウハウや人材を活用するための協力・連携体制を検討します。

「多様な機会の創出による区民の自主的なスポーツ活動の推進」プロジェクト推進イメージ

多様なニーズに対応した教室・講習会・イベント等の開催

- スポーツ教室、講習会、イベント等の開催



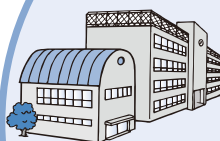
区・スポーツ関係団体等が主体となり、それぞれのノウハウを活用し、年代別、目的別等、様々な層を対象に実施

区民の多様なニーズに対応

多様なスポーツの機会を創出し、区民の自主的なスポーツ活動を促進



中学校運動部活動等の支援



スポーツ関係団体の指導者を外部指導員として活用

- 運動部活動の活性化
- 武道の必修化(平成24年度～)への対応

地域でスポーツを行いたい生徒の活動の場を確保するため、スポーツ関係団体との連携を図る

大学・専門学校等との協力・連携



大学・専門学校等のノウハウ・人材活用のための協力・連携体制の検討

- 大学・専門学校教員や学生を指導者・学生ボランティアとして活用
- 学生に対するインターンシップやイベント企画・運営体験の機会を提供

5.4 「スポーツ関係団体との連携強化」プロジェクト

(1) 目的

「スポーツ関係団体との連携強化」プロジェクトでは、社団法人練馬区体育協会、総合型地域スポーツクラブ、体育指導委員会等、各種スポーツ関係団体との連携を強化し、効果的な情報提供の仕組みを整備し、区のスポーツ振興体制を強化することを目的とします。

(2) 具体的な取組

①スポーツ関係団体との協力・連携

区とスポーツ関係団体の協力・連携、また、スポーツ関係団体相互の協力・連携を図るため、意見交換や情報共有を積極的に行う仕組みを導入し、共催イベント等を開催します。

②大学・専門学校等との協力・連携（再掲：重点プロジェクト5.3）

大学や専門学校の教員や学生を指導者や学生ボランティアとして活用したり、学生にインターンシップやイベント企画・運営体験の機会を提供するなど、大学や専門学校等のノウハウや人材を活用するための協力・連携体制を検討します。

③民間スポーツクラブ等との協力・連携

運営ノウハウや人材、施設を持っている民間スポーツクラブとの協力・連携体制を検討します。

④スポーツイベントの開催（再掲：重点プロジェクト5.1）

区民やスポーツ関係団体が、「する」・「みる」・「ささえる」の多様なスポーツとの関わりを持てるようにするためのスポーツイベントを開催します。

中核となるスポーツ施設において、トップアスリートによるスポーツ教室・イベントの開催、プロスポーツチーム等の試合の誘致を検討します。

企画の段階から区民やスポーツ関係団体が参加するだけでなく、当日はボランティアや観戦、応援でも参加することができるイベント等にすることで、「する」スポーツに加えて、「みる」・「ささえる」スポーツの推進を図ります。

⑤スポーツ指導者バンクの設置

スポーツ指導者に関する情報を充実させるために、スポーツ関係団体と協力して（仮称）スポーツ指導者バンクを設置し、その活用を図ります。

⑥スポーツ関係者、スポーツ関係団体、区民等の情報共有と交流の場の設定

スポーツ関係者やスポーツ関係団体、区民等がお互いの情報共有や交流を図ることができる場を設定します。

「スポーツ関係団体との連携強化」プロジェクト推進イメージ

